サポート情報記事

Folder Tree でファイルやフォルダーの名前を変更し、削除する

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

アイテムの名前を変更する 4

アイテムをごみ箱に移動する 4

操作が無効になる理由 4

アイテムの名前を変更する

1 対象のファイルまたはフォルダーがある親フォルダーへ移動します。
2 アイテムの三点リーダーの **操作** メニューを開き、権限の読み込みを待ちます。
3 **名前の変更** を選択します。
4 **名前** を編集し、**保存** を選びます。ファイルの場合、意図的に変更する必要がない限り、拡張子を維持してください。
5 更新された一覧を確認します。SharePoint が新しい名前を拒否した場合は、エラーを修正して再試行します。

名前には予約文字、先頭や末尾のスペース、末尾のドットを使用できません。競合する名前も SharePoint によって拒否される場合があります。**キャンセル** はアイテムを変更しません。

アイテムをごみ箱に移動する

アイテムの **操作** メニューを開き、**ごみ箱に移動** を選択します。アイテム名を含む確認内容を確認してから、もう一度 **ごみ箱に移動** を選択してください。目的のアイテムでなければ **キャンセル** を選びます。

警告

削除操作は完全削除ではなく、SharePoint のごみ箱への移動を実行します。Folder Tree に復元操作はありません。復元が必要な場合は SharePoint のごみ箱を使用してください。

操作が無効になる理由

編集者は、名前の変更と削除を個別に無効にできます。名前の変更にはアイテムの編集権限、削除には削除権限が必要です。処理中や権限の確認中もボタンが無効になる場合があります。ファイルやサブフォルダーの権限は、親ライブラリの権限と異なる場合があります。